

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル下院が実施したEduardo Cunha前下院議長の議員権剥奪審議において、同前議長の剥奪を賛成450票・反対10票（9人が棄権）で可決したことを受けて政治的不透明感が強まり、レアル売りが加速。7月半ば以降レアルの安値目処として見られていた3.30を抜けると、一時3.33台前半までレアル安が進行。ボブスパ指数も前日比3%安を記録するなど、再び政治的要因を背景としたブラジル資産売りが顕著となった。同前議長は、自身に向けられた数々の疑惑（国外での銀行口座保有やペトロブラス汚職事件への関与）に対して昨日自己弁論を行ったものの、形勢を覆すに至らず、2027年まで公職に就く権利を失うことになる（同前議長は、「議員権剥奪は、私がルセフ前大統領の弾劾裁判開始を承認したことに對する労働者党（PT）の報復行為である」と発言）。Temer政権への支持を表明していた同前議長を失ったことはTemer政権にとっては痛手になると見られ、現在検討している年金改革を柱とした財政再建策が議会での承認を得られるかどうか、一層不透明感が強まることになると予想される。

ブラジル中銀は、レアル相場がこれまでの節目であった3.30を抜けたことを受け、本日実施のリバース通貨スワップ入札額を、市場予想通り、従来の1万枚から5千枚へ削減した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	9月12日	9月13日	前日比	8月12日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,2476	3,3140	+0,0664	3,1922	+0,1218
	対円	JPY	31,35	30,95	-0,40	31,74	-0,79
	対ユーロ	BRL	3,6503	3,7193	+0,0690	3,5638	+0,1555
円	対ドル	JPY	101,85	102,56	+0,7100	101,30	+1,2600
	対ユーロ	JPY	114,43	115,07	+0,64	113,06	+2,01
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	58.586	56.821	-1.765	58.298	-1.477
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	253,7	269,4	+15,7	257,6	+11,8
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	12,19	12,46	+0,27	11,88	+0,58
DI Future Apr17（金利先物）		%	13,59	13,66	+0,07	13,62	+0,04
3 Months US Dollar Libor		%	0,856	0,856	+0,000	0,818	+0,038
CRB Index（国際商品指数）		Index	182,9	180,6	-2,3	182,7	-2,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

